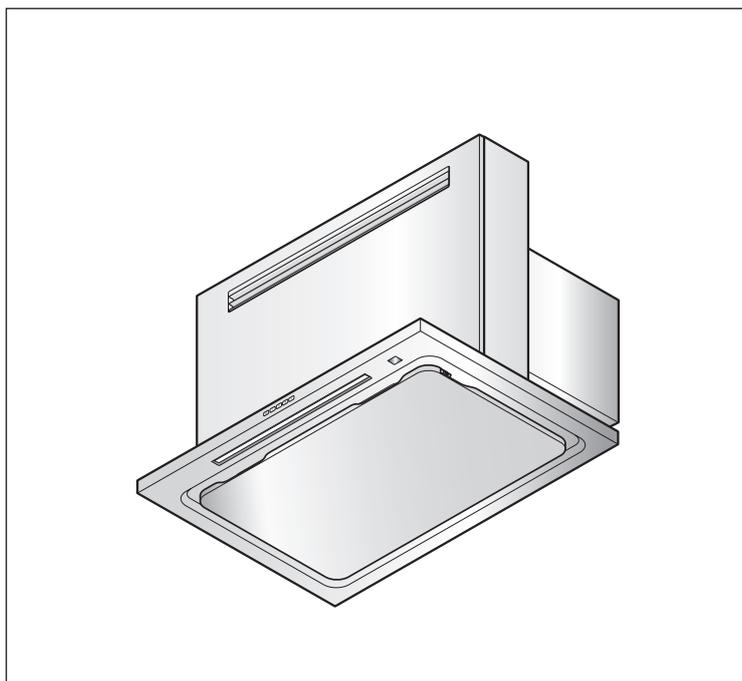


IHクッキングヒーター専用 室内循環フード 取付説明書



も く じ

安全上のご注意.....	2～3
取り付け上のご願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	5～6
各部のなまえ.....	7
製品寸法図.....	8
付属品.....	9
取り付けかた.....	10～20
1. 付属品の確認.....	10
2. 排気用部品の準備.....	10～11
3. 本体の取り付け.....	11～12
4. 電気配線.....	13～14
5. チャンバー本体・横ふさぎ板の取り付け.....	14～15
6. 循環フレーム本体の取り付け.....	15
7. 循環幕板本体の取り付け.....	16
8. 各フィルターの取り付け.....	16～18
9. 前ふたの取り付け.....	19
10. 取扱説明書および オイルパック固定テープの取りはずし.....	19
11. 試運転.....	20
12. お客様への説明.....	20

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1J03 3481



* 1 J 0 3 3 4 8 1 *

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が軽傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



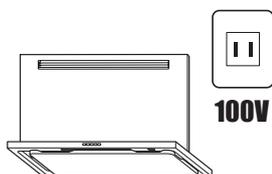
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



使用禁止

- IHクッキングヒーター以外には使用禁止
ガスコンロには使用できません。
本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因となります。



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする
本製品は屋外への排気および換気をおこないません。
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください。
一酸化炭素中毒の原因となります。



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

安全上のご注意

警告



取付注意

- 電源は専用のブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります



取付注意

- 室内循環フード本体と可燃物との間を
10cm 以上離すが、不燃材料を使用して
可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせ
ください



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁
内ラス網など）と接触しないよう取り
付けること
漏電した場合、発火するおそれがあり
ます

注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に
使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください)
感電および故障の原因になります



使用禁止

- 施工時に換気目的で本製品を運転しない
こと
内装工事等で有機溶剤（塗料・シンナー・
ボンド等）を使用中や使用直後に運転す
ると、脱臭フィルター等に吸着・蓄積され、
実際の運転中に薬剤成分・臭いが吹出し
口から放出され、健康を害するおそれ
があります
施工時は別途換気をおこなってください



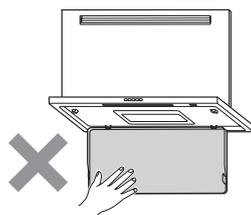
取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところ
には取り付けないこと
火災・故障の原因になります



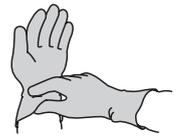
接触禁止

- 運転中は、指や
物を絶対に入
れないこと
けがをするお
それがあります



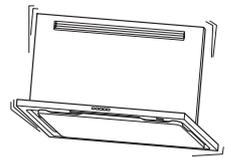
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず
厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけが
をするおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードの取
り付けは、十分強度
のあるところを選んで
確実におこなうこと
落下によりけがをす
るおそれがあります



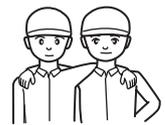
取付注意

- 部品の取り付けは確
実におこなうこと
落下によりけがをす
るおそれがあります



取付注意

- 作業は 2 人以上で
おこなうこと
室内循環フードは
約 47kg の重さが
あります



取り付け上のお願ひ

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工事**

- 【設置のための下地工事等】

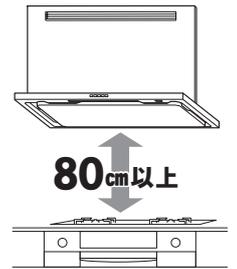
- **配線工事**

- 【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】

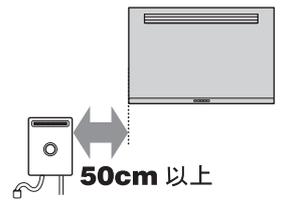
流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- IHクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。
IHクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。
- 室内循環フード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。
本体の取付用座付ねじは45mmの長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
また、室内循環フード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

- 室内循環フードはIHクッキングヒーターの真上に取り付けてください。
なお、室内循環フード取付高さは、室内循環フードの下端がIHクッキングヒーターの真上80cm以上になるようにしてください。



- 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。
塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

取り付け前の調査と準備

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用のブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります

注意



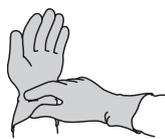
取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります



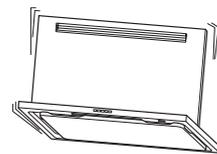
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品質量

47.0kg

■ 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）

- 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板に室内循環フードを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。

■ コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■ 土壁の場合

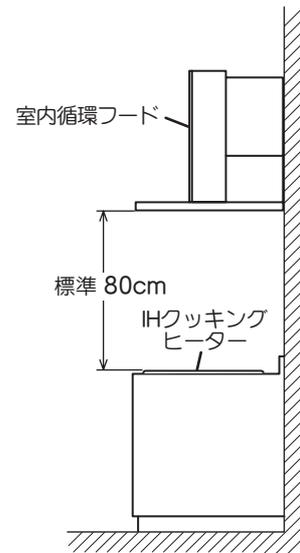
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

取り付け前の調査と準備

2 標準取付寸法

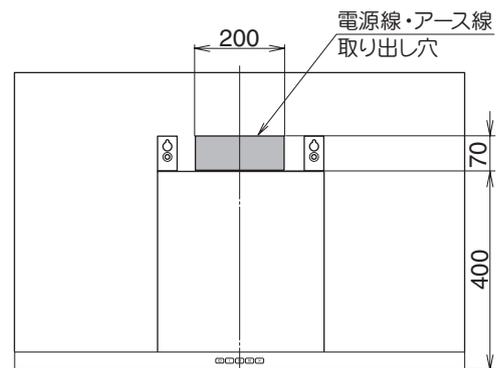
本製品の標準取付寸法は、IHクッキングヒーターの上面から製品の下端まで 80cm 以上です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が IHクッキングヒーターの真上 80cm 以上必要となっています。



3 電源線・ブレーカー

- 本体を設置する場所に電源線とアース線を 500mm 引き出してください。
(本製品は交流・单相 100V 仕様です。)
- 電源線は VVF ケーブル 2 芯 $\phi 1.6$ または $\phi 2.0$ の単線を使用してください。
より線は使用しないでください。
- 電源線・アース線取り出し穴を右図の位置に設けてください。
- ブレーカーは専用のものを設置してください。



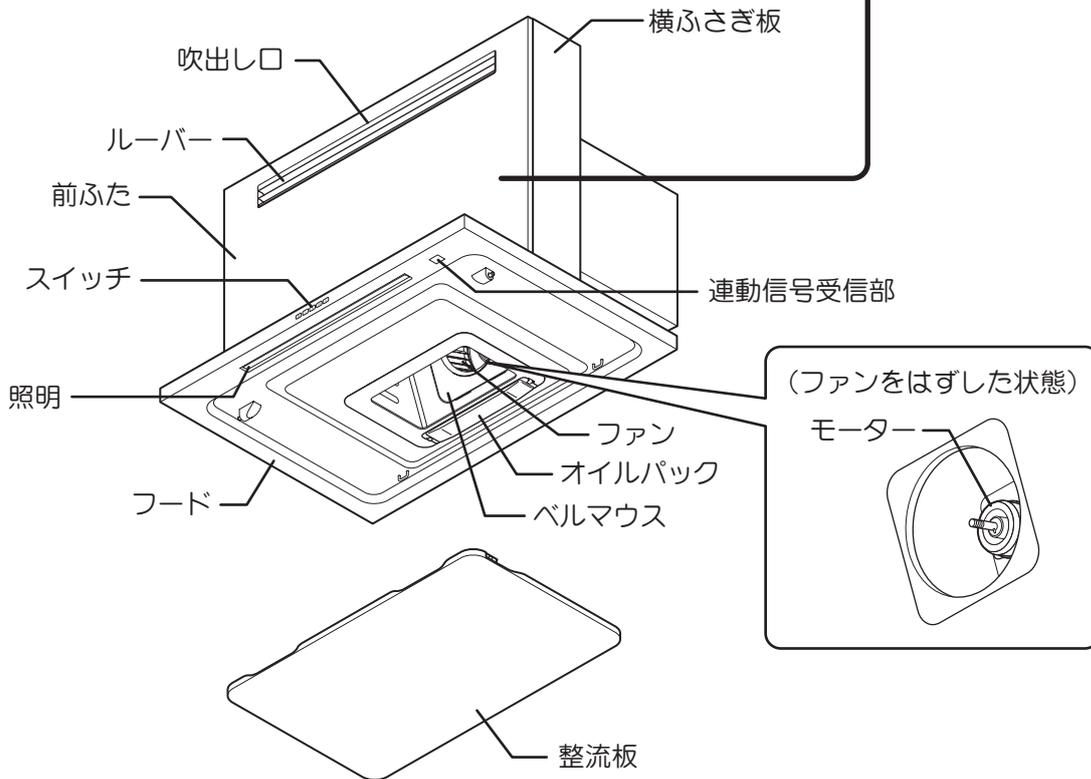
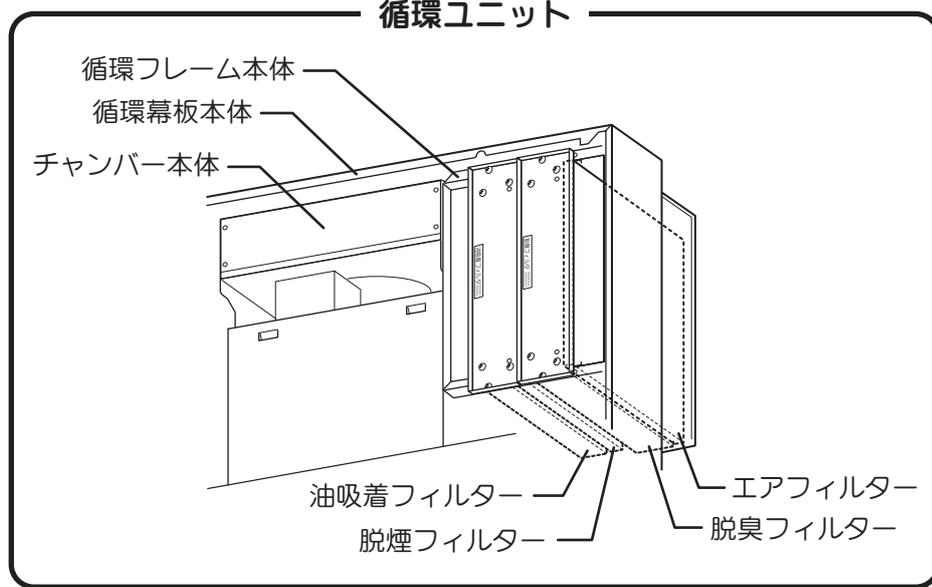
(単位：mm)

お願い

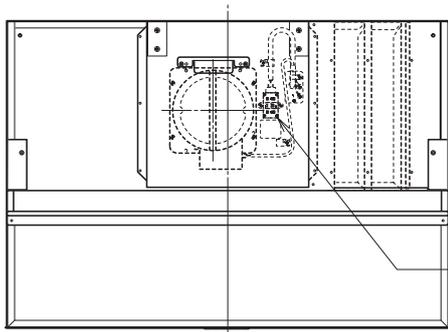
必ずアース工事 (D 種接地工事) をしてください。
室内循環フードが誤作動することがあります。

各部のなまえ

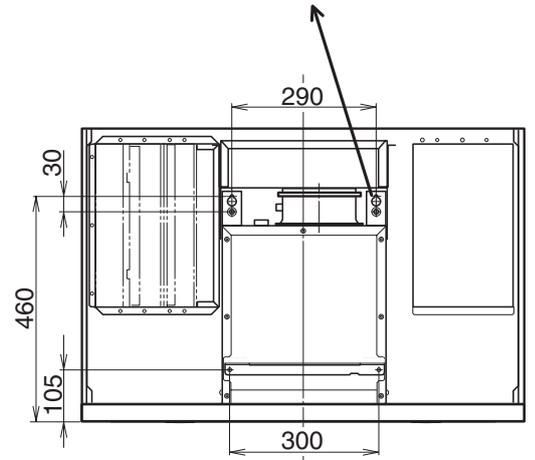
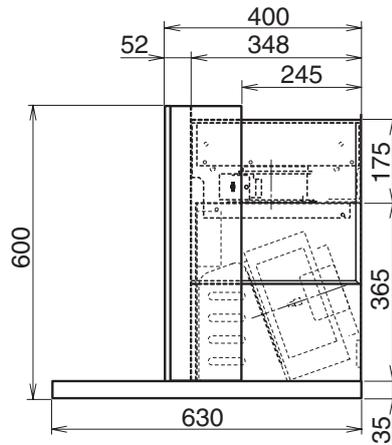
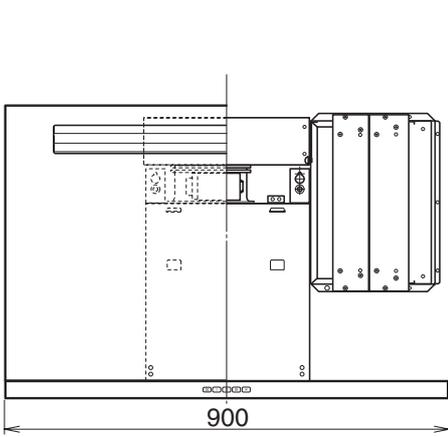
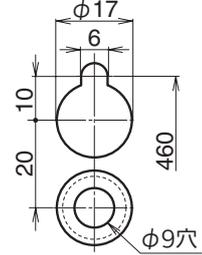
循環ユニット



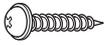
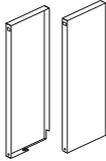
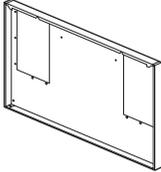
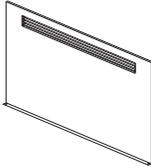
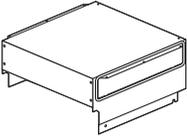
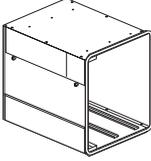
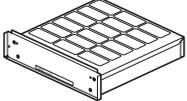
製品寸法図 (単位: mm)



だるま穴
(本体取付穴) 詳細



付属品

■ 室内循環フード本体付属品					
	座付ねじ φ 5.1 × 45 (6 本)	本体の取り付けに 使います。		ナベねじ M4 × 8 (23 本)	循環ユニットの取 り付けに使いま す。
				トラスねじ M4 × 10 (12 本)	循環ユニット、前 ふたおよび各フィ ルターの取り付け に使います。
	本体取付棧 (1 個)			横ふさぎ板 (2 枚)	循環ユニット構成 部品です。
	循環幕板本体 (1 枚)	循環ユニット構成 部品です。		ソフトテープ (1 本)	排気口とチャン バー本体とのすき まをふさぐのに使 います。
	前ふた (1 枚)			排気口 (電動シャッター付) (1 個)	本体とチャンバー 本体の接続に使 います。
■ 循環ユニット付属品 (別梱包)					
	チャンバー本体 (1 個)	循環ユニット構成 部品です。		脱臭フィルター (1 個)	循環ユニット構成 部品です。
	循環フレーム 本体 (1 個)			脱煙フィルター (1 個)	
	ふさぎ板 (1 枚)			エアフィルター (1 個)	
	油吸着フィルター (1 個)				

取り付けかた

1. 付属品の確認

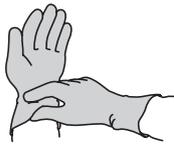
本製品は室内循環フード本体部と循環ユニット部が別梱包になっています。
室内循環フード本体部の梱包箱および循環ユニット部の付属品収納箱から付属品を取り出し、
付属品一覧(9ページ)により不足がないか確認してください。

⚠ 注意



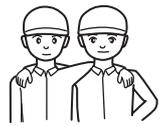
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



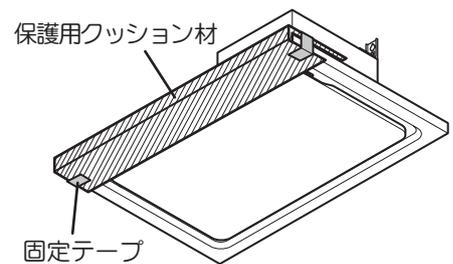
取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと
室内循環フードは約47kgの重さがあります



お願い

- ・ 保護用のクッション材と固定テープはキズ・破損防止のため「10. 取扱説明書およびオイルパック固定テープの取りはずし」(19ページ)まではずさないでください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部が破損するおそれがあります。



2. 排気用部品の準備

1 「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

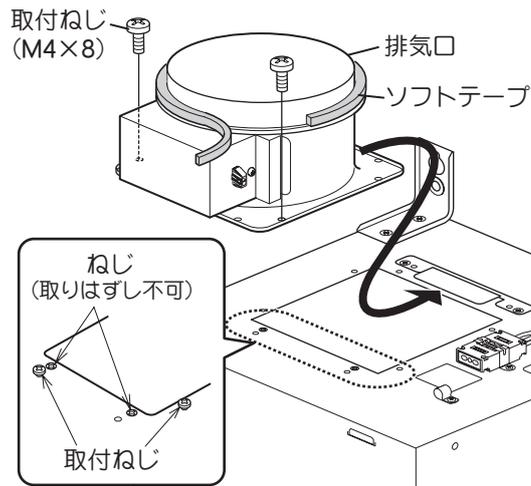
2 排気口を取り付けます。

お願い

手動でシャッターを開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。

取り付けかた

1) 右図のように、排気口の下側端面に沿って付属品のソフトテープを貼り付けます。

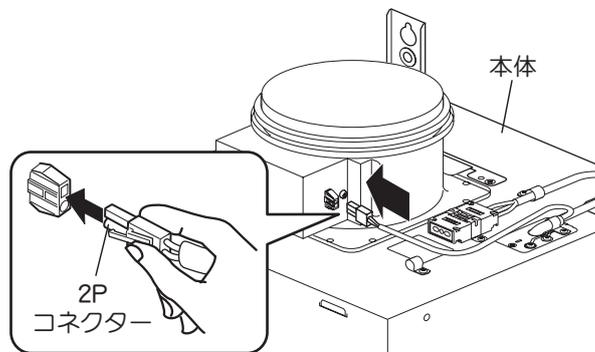


2) 本体に取り付けられている取付ねじ2本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、はずした取付ねじ2本で取り付けます。

※ 取付方向は右図を参照してください。

※ 取付ねじ近傍のねじは取りはずさないでください。

3) 本体部のコネクター付コード (2P コネクター) を排気口のコネクター接続部 (2P コネクター) に接続します。

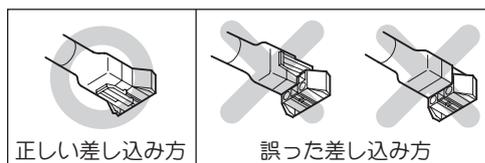


お願い

コネクターの接続について

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。

接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。



3. 本体の取り付け

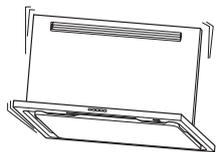
注意



取付注意

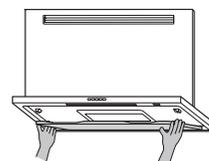
- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



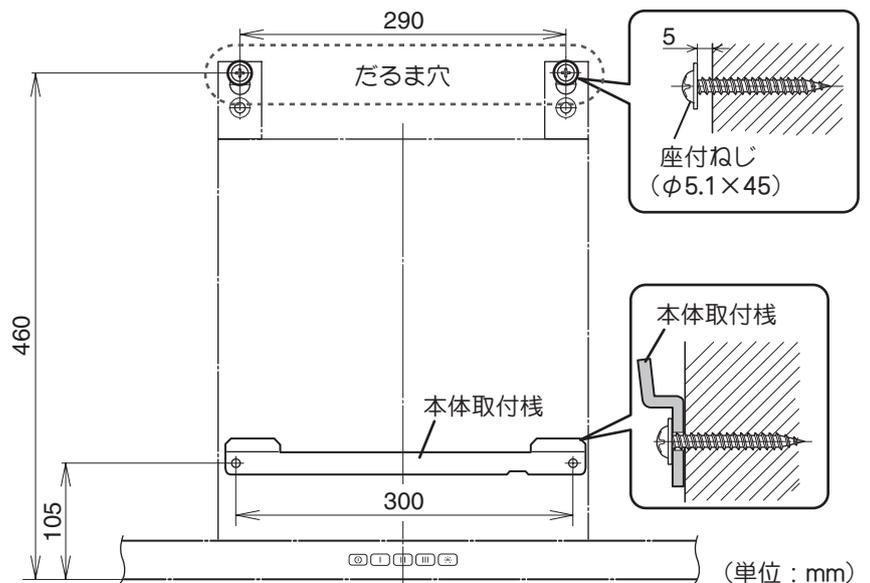
取り付けかた

お願い

- レンジフードの前後および左右方向の水平を確実に出してください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れ（油）が各部のすきまから調理面に滴下することがあります。
- キッチンパネルの上端部をレンジフード下部壁面に入れ込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

1 だるま穴用座付ねじをねじ込みます。

製品寸法図（8 ページ）を参照し、だるま穴位置（左右各 1 ヶ所）に付属品の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）を壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。

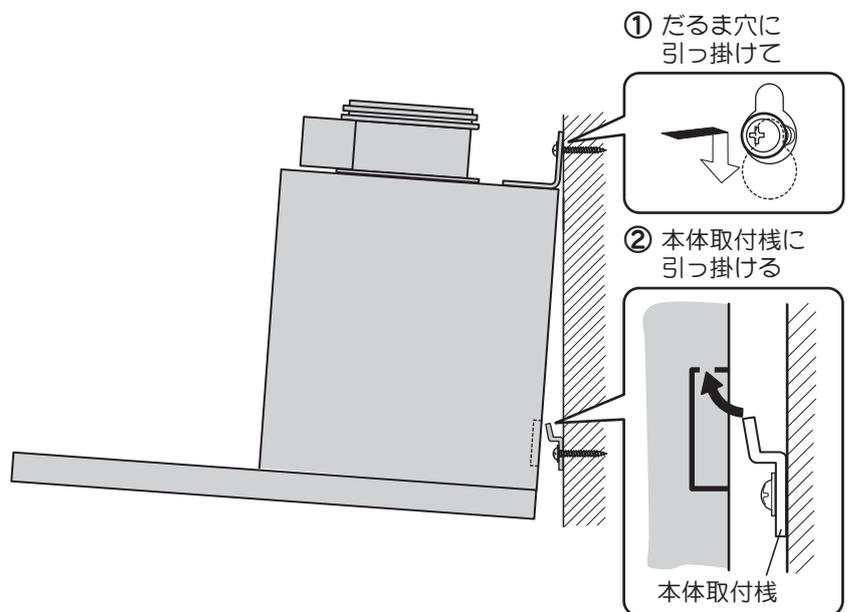


2 本体取付棧を取り付けます。

製品寸法図（8 ページ）を参照し、本体取付棧の取付位置に付属品の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）2 本で本体取付棧を固定します。

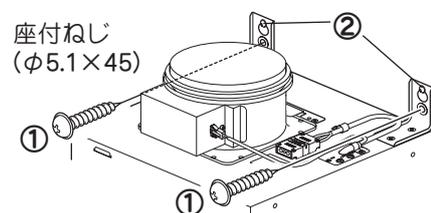
3 本体を引っ掛けます。

本体のだるま穴を座付ねじに引っ掛けながら（①）、本体背面の溝を本体取付棧に引っ掛けます（②）。



4 本体を固定します。

- 1) だるま穴下の $\phi 9$ 穴（左右各 1 ヶ所）に付属品の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）をしっかりと締め付けます（①）。
- 2) だるま穴の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）をしっかりと締め付けます（②）。



取り付けかた

4. 電気配線

警告



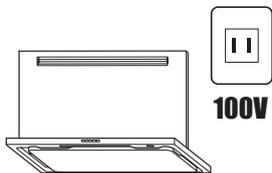
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電するおそれがあります

アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- 電源は専用のブレーカーを設けること

火災・故障の原因になります

端子台に電源線を接続します。

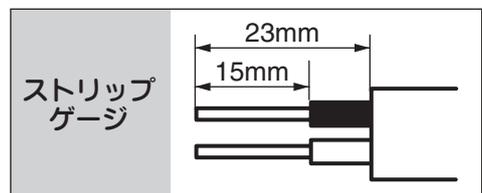
お願い

- ・必ず分電盤のブレーカーを切って作業してください。切らずにおこなうと感電やケガのおそれがあります。
- ・端子台への接続電線は、VVF φ 1.6 または 2.0 の単線を使用し、より線は使用しないでください。
- ・接続を間違えないでください。ショートする危険があります。
- ・電線挿入時は確実に差し込んでください。挿入が不十分な場合、端子部が過熱し火災のおそれがあります。
- ・電線の充電部は必ず絶縁処理をしてください。感電のおそれがあります。
- ・必ずアース（D 種接地工事）をしてください。アース線は、端子台の電線穴③（PE）に取り付けてください。
※ アース線は取付作業側にて手配してください。

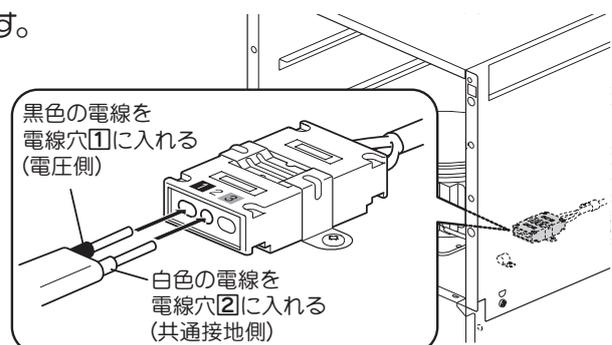
1) 電線被覆 2 本をストリップゲージに合わせむきます。

お願い

必ずストリップの長さを確認してください。



2) 端子台の電線穴に芯線を 2 本同時に奥まで差し込みます。

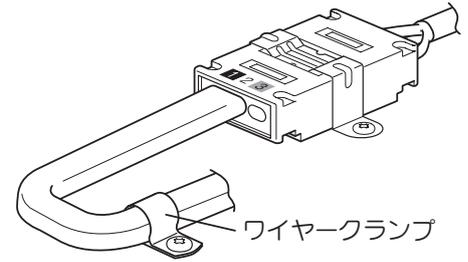


黒色の電線を
電線穴①に入れる
(電圧側)

白色の電線を
電線穴②に入れる
(共通接地側)

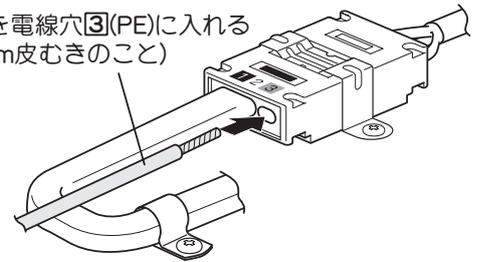
取り付けかた

- 3) 充電部の露出がないことを確認し、ワイヤークランプにて電線を固定します。

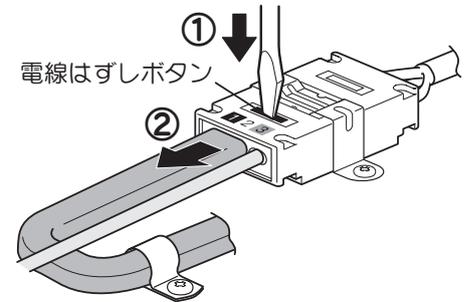


- 4) アース線の先端を 15mm 皮むきし、電線穴③ (PE) に差し込みます。

アース線を電線穴③(PE)に入れる
(先端15mm皮むきのこと)



- ※ 電源線はずすときはマイナスドライバーで押しながら (①)、電線を引き抜きます (②)。



5. チャンバー本体・横ふさぎ板の取り付け

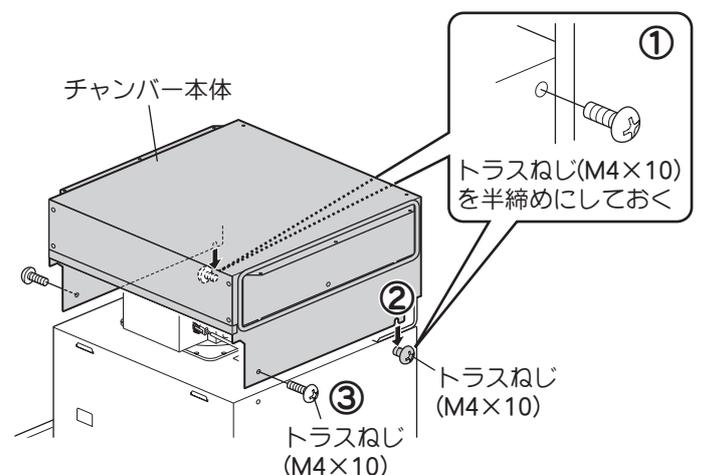
1 チャンバー本体を取り付けます。

- 1) 本体左右奥側上部に付属品のトラスねじ (M4 × 10) を半締め状態にして取り付けます (①)。
- 2) チャンバー本体下側の切り欠き部をトラスねじに差し込み、トラスねじをしっかりと締め付けて固定します (②)。

お願い

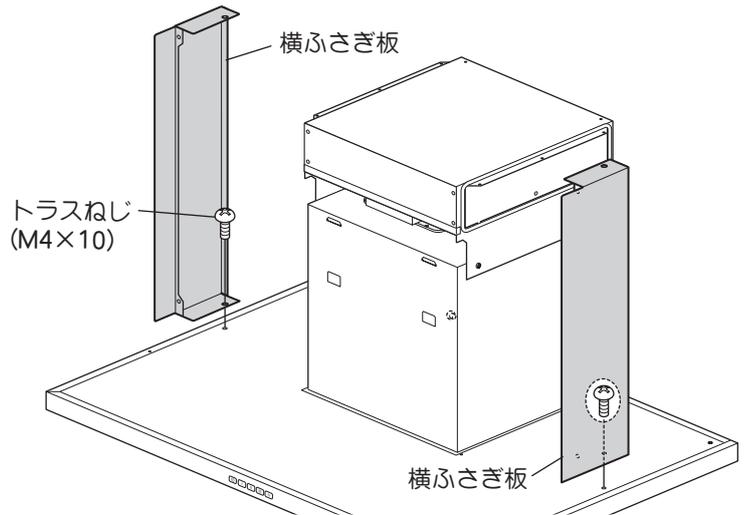
チャンバー本体内の丸穴にフードの排気口を合わせながら取り付けてください。

- 3) 前側左右を付属品のトラスねじ (M4 × 10) 各 1 本で固定します (③)。



取り付けかた

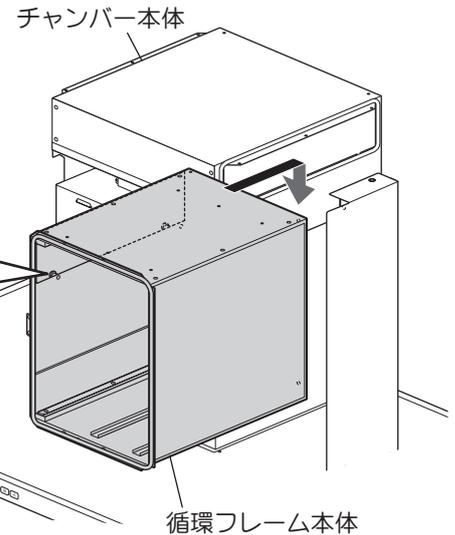
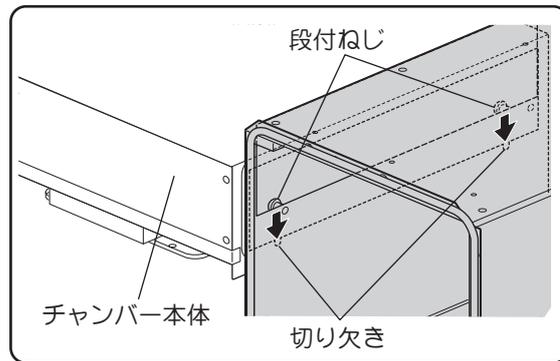
- 2** 横ふさぎ板を取り付けます。
付属品のトラスねじ (M4 × 10) 各 1 本で横ふさぎ板をそれぞれフード本体に固定します。



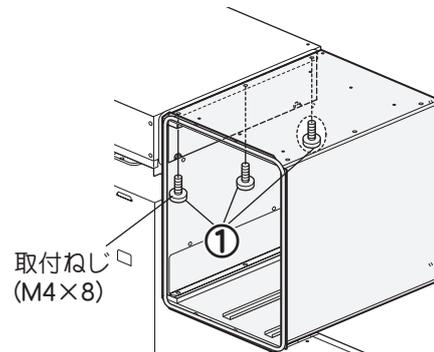
6. 循環フレーム本体の取り付け

循環フレーム本体をチャンバー本体に取り付けます。

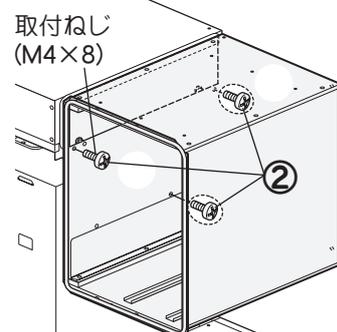
- 1) 循環フレーム本体の段付ねじがチャンバー本体の切り欠きに合う位置にセットします。



- 2) 付属品の取付ねじ (M4 × 8) 3 本でフランジ部に固定します (①)。



- 3) 付属品の取付ねじ (M4 × 8) 3 本で側面を固定します (②)。

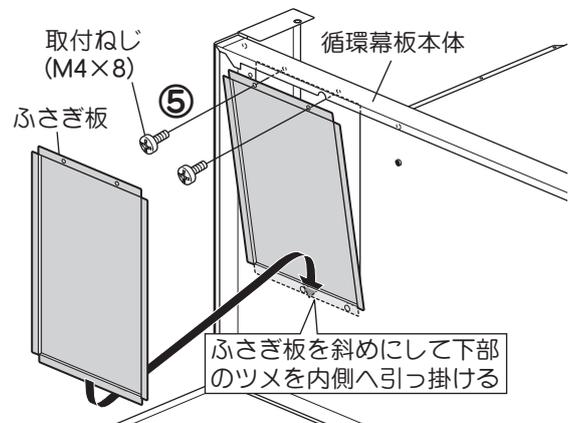
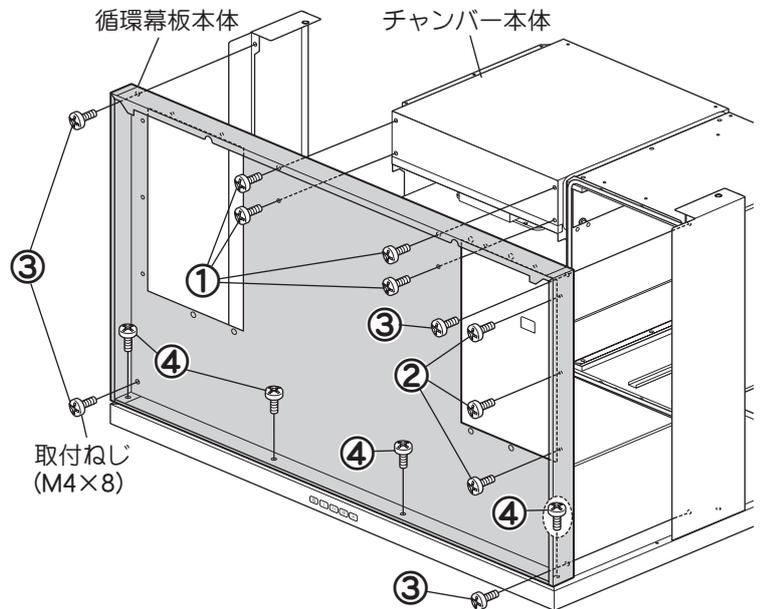


取り付けかた

7. 循環幕板本体の取り付け

循環幕板本体を取り付けます。

- 1) 付属品の取付ねじ(M4×8)4本でチャンバー本体に固定します(①)。
- 2) 循環フレーム本体フランジ部に付属品の取付ねじ(M4×8)3本で固定します(②)。
- 3) 循環幕板本体四隅を付属品の取付ねじ(M4×8)4本で横ふさぎ板に固定します(③)。
- 4) 循環幕板本体下側を付属品の取付ねじ(M4×8)4本でフード本体に固定します(④)。
- 5) ふさぎ板の下側にあるツメを循環幕板本体の開口部内側に引っ掛け、上部を取付ねじ(M4×8)2本で固定します(⑤)。



8. 各フィルターの取り付け

各フィルターを取り付けます。

お願い

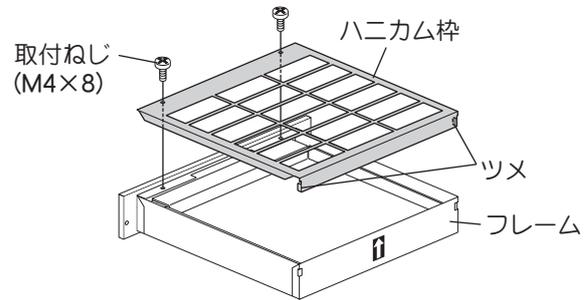
- ・各種フィルターの取り扱いには十分ご注意ください。
落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部が破損するおそれがあります。
- ・フィルターの粉が落ちる場合があります。
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いには十分注意してください。

取り付けかた

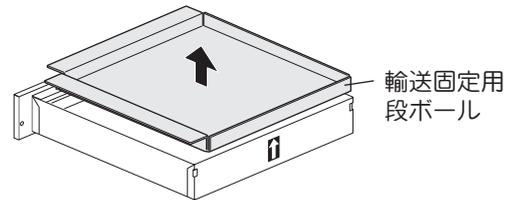
■ 脱煙フィルターの組み立て

脱煙フィルターは油吸着フィルターに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

1) ハニカム枠上側の取付ねじ 2 本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側 2 ヶ所のツメをフレームからはずします。



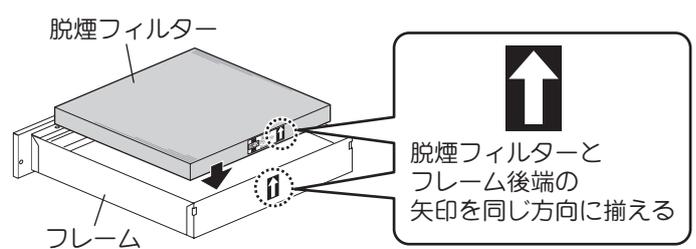
2) 輸送固定用ダンボールを取り除きます。



3) 脱煙フィルターを袋から取り出し、フレーム後端の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルターをセットします。

お願い

必ず脱煙フィルターとフレーム後端の矢印を揃えてセットしてください。誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因になります。



■ 脱煙フィルターが入りにくい場合は

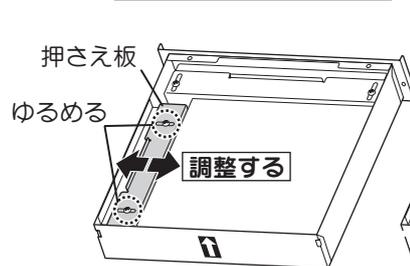
フィルターの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。

脱煙フィルターがフレームに入りにくい場合は、下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルターを挿入してください。挿入後は脱煙フィルターにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。

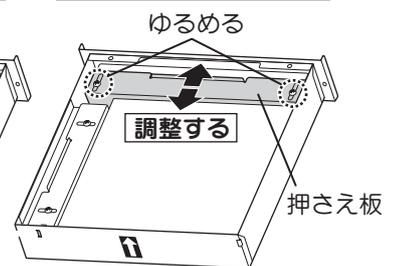
お願い

脱煙フィルターを挿入した後は、脱煙フィルターにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

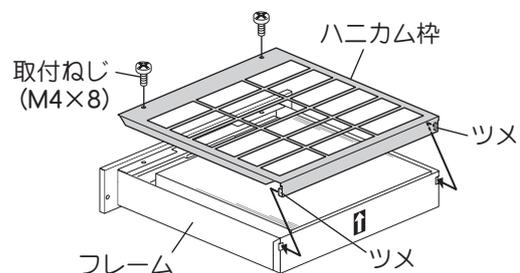
左右が入りにくい場合



前後が入りにくい場合



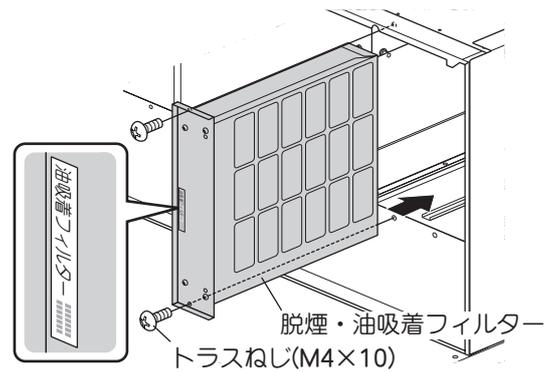
4) ハニカム枠後端のツメをフレームの穴に合わせてふたをし、はずした取付ねじ 2 本で固定します。



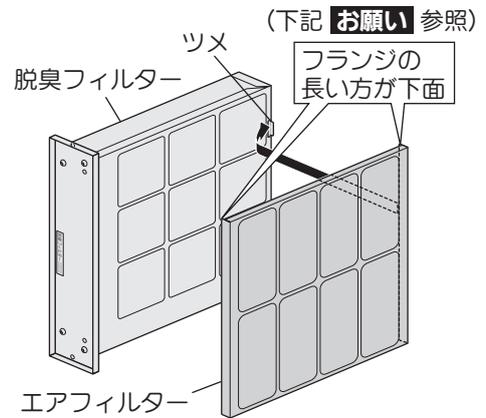
取り付けかた

■ 各フィルター取り付け

- 1) 脱煙・油吸着フィルターを図のように差し込み、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2 本で固定します。

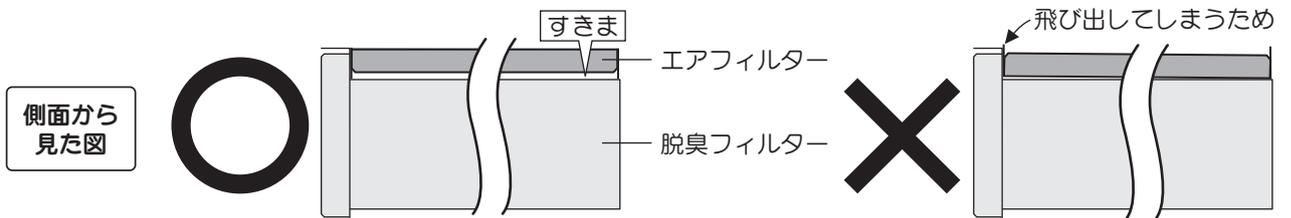


- 2) 脱臭フィルター奥側のツメに当てるようにしてエアフィルターを重ねます。エアフィルターを重ねる際は、右図のように脱臭フィルターとエアフィルターとの間にすきまが空く面を下側にしてください。

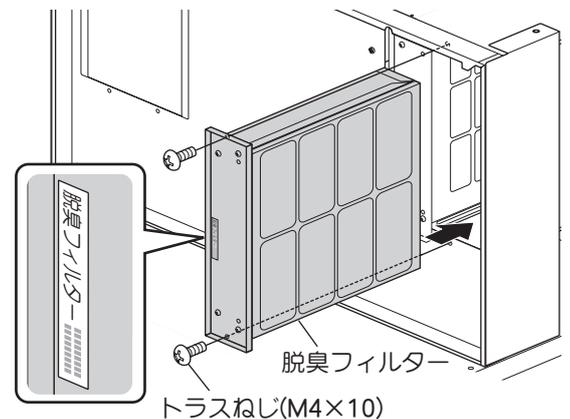


お願い

エアフィルターを重ねる際は、脱臭フィルターとエアフィルターとの間にすきまが空く面を下側にしてください。



- 3) 脱臭フィルターを差し込み、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2 本で固定します。



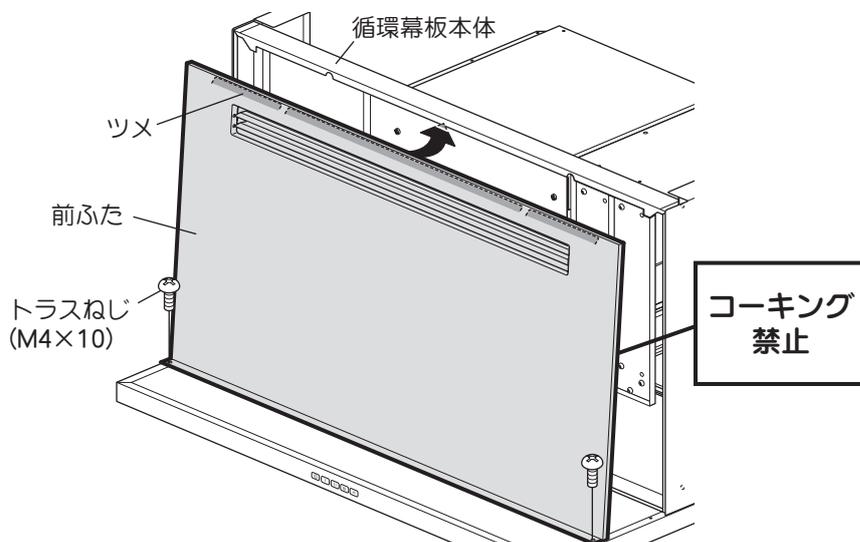
取り付けかた

9. 前ふたの取り付け

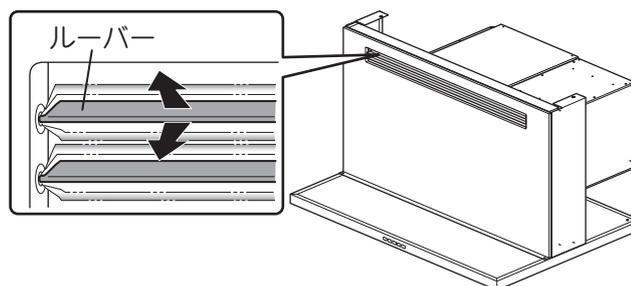
- 1) 前ふた上部のツメを循環幕板本体の引掛け部に入れ、下側2ヶ所を付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。

お願い

フィルターを交換する際に前ふたを取りはずしますので、前ふたの外周はコーキングをしないでください。



- 2) ルーバーの向きを調節します。前ふた上部にある吹出し口のルーバーの向きを、適宜調整してください。



10. 取扱説明書およびオイルパック固定テープの取りはずし

- 保護用クッション材と整流板を固定しているクッション材 (左右) 2ヶ所をはずします。
- 整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。
- 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルパックを固定しているテープをはがします。固定テープをはがした後は整流板をもとどおりに取り付けてください。

取り付けかた

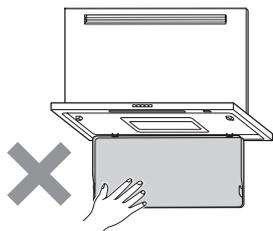
11. 試運転

⚠ 注意



接触禁止

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



使用禁止

- 施工時に換気目的で本製品を運転しないこと
内装工事等で有機溶剤（塗料・シンナー・ボンド等）を使用中や使用直後に運転すると、脱臭フィルター等に吸着・蓄積され、実際の運転中に薬剤成分・臭いが吹出し口から放出され、健康を害するおそれがあります
施工時は別途換気をおこなってください

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速度調整による室内循環が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 製品の吹出し口から室内に循環され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。

12. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。